



アーキテクチャ図

CloudFront を使用したマルチリージョン GraphQL API



CloudFront を使用したマルチリージョン GraphQL API: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

マルチリージョン GraphQL	i
CloudFront を使用したマルチリージョン GraphQL API	1
詳細情報	2
図の履歴	2
.....	iv

DynamoDB データストリームを処理し、専用に構築された GraphQL スキーマサブスクリプションをトリガーします。

3. カスタムドメインをサポートするには、ドメインの SSL 証明書を AWS Certificate Manager (ACM) にアップロードし、[Amazon CloudFront](#) デистриビューションにアタッチします。
4. Amazon Route 53 を DNS 名解決サービスとして使用して、ドメイン名を CloudFront にポイントします。
5. レイテンシーが最も低いリージョンにグローバルクライアントをルーティングするように Route 53 でルーティングルールを設定します。
6. 任意のリージョンの AppSync エンドポイントに対してクライアントをシームレスに認証するには、Lambda@Edge を使用して、リクエストを転送する最適なリージョンについて Route 53 をクエリし、各リージョン AppSync の特異性を抽象化して認可を正規化します。
7. 世界中のクライアントは、エッジロケーションで利用可能な単一のエンドポイントで GraphQL API に接続できます。
8. CloudFront は、レイテンシーが最も低いリージョンの API にクライアントリクエストをシームレスにルーティングします。

詳細情報

詳細については、次のリソースを参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2022 年 4 月 25 日

 Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。